

<理科> 4年

「大田区学習効果測定」結果の分析

全般的に前年度の正答率を上回っている。また、7割以上の項目で目標値、全国正答率を上回っている。「太陽と地面のようす」では、太陽の観察方法や時間経過に伴うかげの動きについて理解できていない児童がいる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・特に「植物の育ち方」、「こん虫のからだのつくり」の単元において知識・理解の定着を図る必要がある。
- ・実験器具の正しい使い方を理解し、観察・実験の技能の定着化を図ることが課題である。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・人から聞いた知識ではなく、生活経験や既習事項から予想をたてて、観察や実験を行っていくことに課題がある。
- ・実験や観察を行った後、学習問題と照らし合わせて自分の言葉で結果を考察する力が必要である。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身の回りで起こることや自然事象の変化に興味・関心をもち、調べたり考えたりしようとする態度を育てることが必要である。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・直接事象と関わることができないものや分かりにくいものについては視聴覚教材を活用して授業を行う。
- ・動物の活動や植物の成長では、観察の視点を明確にする。その際、季節と関係づけて考えられるような話や発問をする。
- ・安全に実験が行えるよう、器具の使い方を十分説明したり、図を使って説明したりする。
- ・観察・実験の結果をもとにして、学習内容を確認・整理・習熟する時間をとり、体験から知識の定着を図る。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・自分の言葉で考察したり考えを表現したりしていく活動を多く取り入れる。必要なキーワードを確認したり、友達と交流したりして、少しずつ自分の言葉で文をまとめることができるようにしていく。
- ・生き物の活動や成長については、季節とのかかわりに着目して予想を立てながら考えをもたせていく。
- ・児童の生活経験や既習事項との関連を考慮し、実感を伴って学習内容を理解できるよう授業展開や学習活動を工夫する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・授業外の時間においても体験の中でうまれた気付きや発見を大切に、認めていく。また、自ら課題を考えて取り組むことを様々な授業で経験できるようにする。
- ・子どもたちと一緒に子どもたちの言葉で学習問題を作り、意欲をもって取り組めるようにする。